

クラス番号	631	担当教員名	大藏真弓
テーマ	ソーシャルワークの立場から、医療・介護専門職の連携による 高齢者支援とまちづくりを考える		
著書・論文	研究課題：高齢期の社会的孤立を予防するソーシャルワーク・アプローチ 地域包括ケア構築における在宅医療・介護連携の推進		
研究課題等	論文：「ケアマネジメントにおけるネットワーキングの意義～研究会方式による実践事例を通して」（共著）日本福祉大学社会福祉論集（126），2012年 著書：『デンマークの選択・日本への視座』（共著）中央法規出版，2014年		

## ゼミナール概要

キーワード：地域包括ケアシステム・在宅医療・介護連携・ソーシャルワーク・アドバンスケアプランニング

目的、内容、方法等：

### 1) 目的

みなさんが社会に出て就労すると、仕事を通して様々な課題にぶつかることとなります。ゼミの2年間を通して、組織や地域社会の中で、自ら課題を発見し、情報を集め、解決していくちからをつけていくことを目的としています。

### 2) 授業計画

① 3年次のゼミの前半では、テキストや新聞記事等をもとに、現代社会で起きている福祉課題について、話し合いやグループ学習を行いながら視野を広げます。また、1人暮らし高齢者との交流会をはじめとしたフィールドワークを行います。

② 3年次の後半には、卒業研究の準備に向けてグループ研究を行います。サブゼミグループで関心のあるテーマを定めて資料や文献を集め、フィールドワークを行い、共同研究に取り組みます。

③ 4年次の前半は、研究テーマに合わせたフィールドワークを行い、卒業論文を執筆します。卒業論文の完成は10月末を予定しています。社会福祉士国家試験に向けて、卒論提出後はゼミ内で受験対策講座を行います。

### 3) フィールドワークの方法と対象地

#### ①一人暮らし高齢者の方々との交流活動

名古屋市内で開催される一人暮らし高齢者会食会に、例年1～2回参加しています。高齢者の方々とのレクリエーション活動をとおして、高齢者の地域生活と課題への関心・理解を深めていきます。

#### ②地域包括ケアシステムと在宅医療・介護連携事業

私は郡市医師会のソーシャルワーカーとして勤務しており、自治体の地域包括ケアシステム構築に向けて在宅医療・介護連携の推進に取り組んでいます。地域を基盤とした医療・介護専門職のチームワーク、人生の最終段階における意思決定支援などの研修会、住民啓発事業を企画運営していますので、関心のある方はぜひ参加してください。

### 4) 留意事項

ゼミ開講日以外にも、フィールドワークや調査を行います。通常のゼミの時間外に、交通費が必要な活動を行う場合があります

## 担当教員からのメッセージ



ゼミ生のみなさんには「自分の頭で考え、自分の言葉で表現する。他の人の話をきく」ことを学んでほしいと思っています。好奇心を大切に、新聞やニュースから情報を得て、現代社会で起きている出来事に関心を向け、ゼミの仲間と共に「考えること、伝えること、上手に質問すること」のトレーニングを積み重ねていきましょう。

一人ひとりの良いところを見つけて尊重できるゼミを、みなさんと一緒に作っていきたいと思っています。